

事業報告

第116期 中間営業報告書(自平成16年3月1日 至平成16年8月31日)

営業の概況

(1) 営業の状況

当上半期における我が国経済は、世界経済の回復を背景に企業収益が一段と改善し、個人消費も緩やかな増加に転じましたが、株式市況は伸び悩み、雇用も改善しながらなお厳しい状況で推移いたしました。このような情勢下にあって当社の上半期業績は、ミュージカルが好調な演劇部門が成績を伸ばし、映画各部門も高稼働作品はあったものの前年同期には及ばず、営業収入は477億7千1百万円(前年同期比2.5%減)、経常利益は100億1千万円(前年同期比14.3%増)、中間純利益は52億6千万円(前年同期比5.3%増)となりました。経常利益及び中間純利益は新記録となりました。

以下各部門ごとにご報告申し上げます。(各部門とも数字は内部振替控除前のもの)

映画営業 興行収入80億円を超えた「世界の中心で、愛をさけぶ」をはじめ、「2004ドラえもんフェスティバル」「イノセンス」「クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ!夕陽のカスカベボーイズ」「名探偵コナン 銀翼の奇術師」「下妻物語」「海猿」「劇場版ポケットモンスター アドバンスジェネレーション 裂空の訪問者デオキシス」「スチームボーイ」「劇場版NARUTOーナルトー大活劇!雪姫忍法帖だってばよ!!」/木ノ葉の里の大うん動会」「NIN×NIN忍者ハットリくん・ザ・ムービー」等のヒット作品を含む15本を配給いたしました。その結果、映画営業収入は158億1千6百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

映画興行 前記当社配給作品のほかに、「ホーンテッド・マンション」「コールドマウンテン」「デイ・アフター・トゥモロー」「スパイダーマン2」「シュレック2」「トロイ」「ハリー・ポッターとアズカバンの囚人」等、邦洋画の話題作を上映いたしました結果、映画興行収入は103億1千8百万円(前年同期比8.5%減)となりました。

なお期中に奈良県橿原市の「ダイヤモンドシティ・アルル」内に「TOHOシネマズ橿原」(9スクリーン)、千葉県船橋市の「TOKYO-BAY LaLaport」内既存劇場スペースのリニューアルを実施し「TOHOシネマズ船橋ららぽーと」として前期分6スクリーンをオープン(後期分4スクリーンは本年10月オープン)しました。また(株)ティ・ジョイとの共同経営で広島県府中町の「ダイヤモンドシティ・ソレイユ」内に「広島バルト11」(11スクリーン)をオープン、直営劇場は合計128スクリーンとなりました。

さらに子会社経営により熊本県菊池郡に「TOHOシネマズ光の森」(9スクリーン)、愛知県木曽川町に「TOHOシネマズ木曽川」(10スクリーン)、栃木県宇都宮市に「TOHOシネマズ宇都宮」(10スクリーン)、高知市に「TOHOシネマズ高知」(9スクリーン)をオープンさせる一方、老朽化した6スクリーンを閉館、グループで53増の合計441スクリーンとし、東宝系興行網の充実をはかりました。

演劇興行 帝国劇場においては、演出を一新したミュージカル「エリザベート」の3ヶ月公演が、前回は上回る評判を呼び記録的な大ヒットとなりました。続いて11年ぶりに再演のミュージカル「ミス・サイゴン」が、圧倒的な支持のうちに4ヶ月公演の幕を開けました。

日本物の舞台では、谷崎文学の傑作「細雪」、「喝采-愛のボレロ-」の各公演も大入りとなりました。

芸術座においては、「プワゾンの匂う女」「初薨」「阿修羅のごとく」が高い評価を得ました。

そして東京芸術劇場においてはミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」、「レ・ミゼラブル インコンサート」を公演し、大成功を収めました。ル テアトル銀座では「恋風の街」を上演いたしました。また中野サンプラザホールにおける他社との共同製作公演、モーニング娘。のミュージカル「HELP!! 熱っつい地球をさますんだっ。」も地球温暖化をテーマに取り上げ、大きな評判を呼びました。さらに、

全国へと展開が続けている東宝演劇の各公演も、部門収益に多大の寄与をいたしました。以上により、演劇興行収入は61億2千3百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

テレビ 放送用映画番組は、帯ドラマ「永遠の君へ」65本を制作し、深夜ドラマ「ヴァンパイアホスト」12本、「ファンタズマ」12本を制作協力しました。番組販売収入を加算したテレビ収入は6億1千3百万円（前年同期比20.2%減）となりました。

映像事業 ビデオ事業は、レンタル用商品（VHS及びDVD）として「陰陽師Ⅱ」「g@me. ゲーム」「ブルドッグ」「ゴジラ×モスラ×メカゴジラ 東京SOS」「解夏」などを提供すると共に、本年4月より本格参入したDVDレンタル用に既レンタルリリース作品をDVD化し、「黒澤明監督作品群」「劇場版 名探偵コナンシリーズ」ほか洋画27タイトル等を提供いたしました。また、セル用DVDとして「陰陽師Ⅱ」「ブルドッグ」「阿修羅のごとく」「東京オリンピック」「解夏」「犬夜叉 天下覇道の剣」等の販売をおこないました。

出版・商品事業は「ドラえもん のび太のワンニャン時空伝」「名探偵コナン 銀翼の奇術師」「世界の中心で、愛をさけぶ」「スパイダーマン2」等が順調に稼働いたしました。

版權事業は「東宝怪獣キャラクター」「超星神グランセイザー」の商品化権収入と各種受取配分金がありました。以上により映像事業収入は、92億7千万円（前年同期比4.1%減）となりました。

不動産経営 本年4月の東京都調布市スーパーマーケット（オザム調布多摩川店）オープンによる収入が寄与し、また積極的に既存テナントの見直しを行いました。一方では再開発による南街ビルの休業等があり、不動産経営収入は88億8千6百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

その他の営業収入は5千8百万円となりました。

以上の営業収入合計額510億8千7百万円より内部振替額33億1千6百万円を控除した額が前記の営業収入となっております。

中間配当金につきましては、1株5円と決定させて頂きました。

当社といたしましては今後一層の経営の充実を計り、業績向上を期すべく努力いたす所存でございます。なにとぞ引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

（注：本報告書中の記載金額は、表示単位未満を切捨てております。）